

茨城県の薬剤師

2007年5月15日

1年Z組 079999番 明薬太郎

概要

茨城県には薬科大学がないが、薬剤師数は他都道府県に比べて不足しているとは言えず、県内に薬科大学を至急設置する必要はないとの結論を得た。ただし、このレポートは情報処理演習の為の形式的な例であって内容については参考にならない。

キーワード：茨城県、薬剤師数、地域医療、医薬分業

1. はじめに

最近医薬分業が進み、地域薬局を充実する必要があると思われる。そこには地域に密着した薬剤師が望まれる。ところで、茨城県には薬科大学がなく、地元の子弟が薬科大学を選ぶ機会を狭めていると思われる。そこで、全国の薬剤師数を調査し、県内に薬科大学を設置する必要性があるか議論する。

2. 薬局・医療施設に従事する薬剤師数

図1に示すように全国平均は人口10万人当たり108人であるが、茨城県は92.8人であり、全国平均より14%低くなっている。全国平均を上まっているのは東京、神奈川、大阪、広島、山口、徳島、香川、高知、福岡、佐賀、長崎の11都道府県であり、ほとんどが薬学部のある大学を有するか又はその近隣圏である。

厚生労働省資料

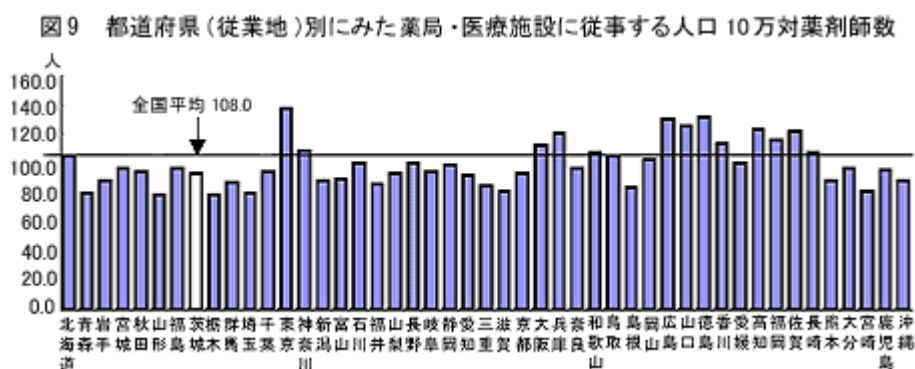


図1

3. 茨城県内の薬剤師登録者数

県内の薬剤師登録者数は人口10万人当たり160.2人であり、全国都道府県中14位である。図2から分かるように平成2年より急速に全国平均に近づいている。また、茨城県は薬科大学が集中している首都圏に近いこともあって、薬学部志望者が定常的に確保でき

る環境にあると思われる。

茨城県資料

図7 薬剤師数・人口10万対の年次推移

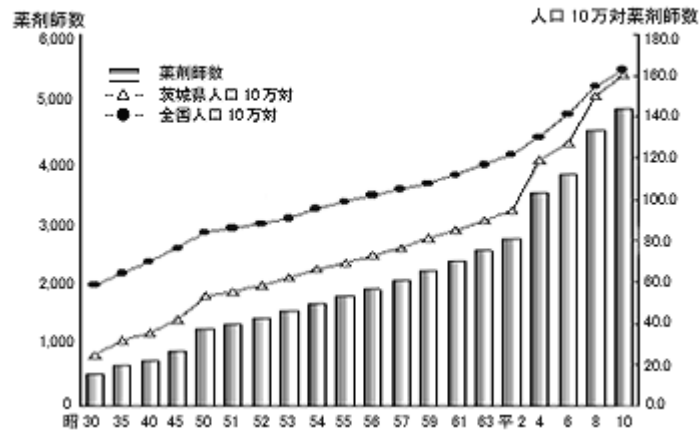


図2 茨城県薬剤師数年次推移

5. 薬局数

人口10万人当りの薬局数は図3に示すように35.54であり、全国平均38.94に比べ、11%低くなっている。

厚生労働省資料 (<http://www.yafo.or.jp/database/files/db081021.xls>)

薬局数(全国、平成14年度)							
						(単位:所、%)	
	都道府県名	薬局数	前年比	薬局数 10万人当り	前年差	都道府県名	人口
1	北海道	2,053	3.53	36.25	1.26	北海道	5,662,856
2	青森	522	2.15	35.09	0.86	青森	1,487,451
3	岩手	531	4.12	37.63	1.62	岩手	1,411,176
4	宮城	1,024	2.20	43.57	0.90	宮城	2,350,132
5	秋田	453	1.12	38.32	0.67	秋田	1,182,025
6	山形	420	▲ 1.18	34.07	▲ 0.29	山形	1,232,578
7	福島	769	3.50	36.23	1.32	福島	2,122,613
8	茨城	1,064	3.20	35.54	1.12	茨城	2,993,746
9	栃木	692	3.28	34.51	1.08	栃木	2,005,467
10	群馬	645	▲ 0.31	31.89	▲ 0.12	群馬	2,022,666
11	埼玉	2,100	3.65	30.20	0.95	埼玉	6,954,276
12	千葉	2,011	2.71	33.64	0.74	千葉	5,978,287
13	東京	5,574	1.83	46.46	0.48	東京	11,996,460
14	神奈川	3,143	1.68	36.77	0.34	神奈川	8,546,857

図3 都道府県別薬局数

4. 結論

茨城県の薬剤師登録者数はほぼ全国平均であり、急増を臨む必要はない。また、最近はや都心への交通事情の改善で都心の薬科大学への進学に抵抗がなくなっていると思われる。したがって、現在の時点で薬科大学を設置する必要は認められない。

参考文献

- 1) 厚生労働省 厚生統計要覧, http://www.mhlw.go.jp/toukei/youran/indexyk_2_2.html
- 2) 茨城県 茨城県医師・歯科医師・薬剤師調査,
<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/koso/iji/koso/stachischics/doctor-dental-drug/index.html>